



青森県感染症発生情報 (2019年第1週)

I 第1週の発生動向 (2018/12/31~2019/1/6)

1. インフルエンザについては、**上十三保健所管内**で**注意報**が発令されました。また、五所川原保健所管内で定点当たり報告数が8.71、むつ保健所管内で8.50となり、注意報基準値(10)に近づいています。
2. 水痘については、**東地方+青森市保健所管内**で**注意報**が**解除**されました。
3. 伝染性紅斑については、**むつ保健所管内**で**警報**が**解除**されました。

II 第1週五類感染症定点把握

※記載データは、速報値です。

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県の感染症発生状況 TOP ページをご覧ください。

小児科	東青 (東地方+ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)		三八 (三戸地方+ 八戸市保健所)		西北 (五所川原保健所)		上北 (上十三保健所)		下北 (むつ保健所)		青森県計		前週からの増減 数		
		数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点			
小児科 内科	インフルエンザ	67	5.15	76	5.07	58	3.87	61	8.71	121	13.44	51	8.50	434	6.68	214
小児科	RSウイルス感染症	4	0.50	3	0.33	1	0.10	3	0.60					11	0.26	-8
	咽頭結膜熱	2	0.25	3	0.33	2	0.20	8	1.60					15	0.36	-4
	A群溶血性連鎖球菌咽頭炎	2	0.25	4	0.44	8	0.80	1	0.20	2	0.33	1	0.25	18	0.43	-19
	感染性胃腸炎	19	2.38	5	0.56	18	1.80	18	3.60	10	1.67	7	1.75	77	1.83	-79
	水痘	2	0.25	1	0.11	3	0.30	3	0.60					9	0.21	-15
	手足口病	2	0.25											2	0.05	-5
	伝染性紅斑	1	0.13			2	0.20	1	0.20	4	0.67			8	0.19	-9
	突発性発しん	1	0.13			7	0.70	3	0.60	1	0.17	2	0.50	14	0.33	3
	ヘルパンギーナ															
流行性耳下腺炎			1	0.11	2	0.20					2	0.50	5	0.12	-4	
眼科	急性出血性結膜炎			1	0.33									1	0.09	1
	流行性角結膜炎	1	0.50	2	0.67	2	1.00	1	1.00					6	0.55	5
基幹	感染性胃腸炎(ロウウイルス)			1	1.00						1	1.00	2	0.33	1	
	クラミジア肺炎															0
	細菌性髄膜炎															-1
	マイコプラズマ肺炎										2	2.00	2	0.33	1	
	無菌性髄膜炎															0

は警報、は注意報。「空欄」: 患者報告無し。

感染症の窓

ノロウイルスによる感染性胃腸炎や食中毒は、一年を通して発生していますが、特に冬季に流行します。ノロウイルスの感染力は非常に強く、患者のふん便やおう吐物には大量のウイルスが含まれているため、感染源になります。そのため、食品取扱者が感染していると、大規模な食中毒など集団発生を起こしやすく、十分な注意が必要です。

感染予防として、調理前や食事の前、トイレの後に必ず手洗いすることが重要です。下痢やおう吐等の症状のある方は、食品を直接取り扱う作業をしないようにしましょう。特に、子どもやお年寄りなど抵抗力の弱い方が、加熱の必要な食品を食べるときには、中心部までしっかり加熱しましょう。また、患者のおう吐物やおむつなどは、マスクや手袋を着用して適切に処理し、感染を広げないようにしましょう。

○詳しい情報はこちらをご覧ください

☞ [感染性胃腸炎\(特にノロウイルス\)について\(厚生労働省 HP\)](#)

ノロウイルスによる感染性胃腸炎 (五類定点把握対象疾患)

ノロウイルスによる感染について

感染経路	症状
<食品からの感染> ●感染した人が調理などをして汚染された食品 ●ウイルスの蓄積した、加熱不十分な二枚貝など <人からの感染> ●患者のふん便やおう吐物からの二次感染 ●家庭や施設内などでの飛沫などによる感染	<潜伏時間> 感染から発症まで24~48時間 <主な症状> ●吐き気、おう吐、下痢、腹痛、微熱が1~2日続く。 感染しても症状のない場合や、軽い風邪のような症状のこともある。 ●乳幼児や高齢者は、おう吐物を吸い込むことによる肺炎や窒息にも要注意。

[ノロウイルス食中毒予防対策リーフレット](#)より抜粋(出典:厚生労働省 HP)

ノロウイルス 厚生労働省



Ⅲ 全数把握対象疾患

- ・結核（二類全数把握対象疾患）：弘前1人（2019年計：1人）
- ・侵襲性肺炎球菌感染症（五類全数把握対象疾患）：弘前1人（2019年計：1人）

Ⅳ 病原体検出情報 ※（）内は、検査材料及び検体採取日です。

急性腸炎患者（腸内容物、12/18）・・・コクサッキーウイルス B3 型：むつ1人
 喘息様気管支炎患者（鼻汁、12/12）・・・ヒトパラインフルエンザウイルス 1 型：むつ1人

Ⅴ 県内インフルエンザ情報（2018年第46週～2019年第1週）

- ・第1週の患者報告数は434人で、このうち迅速診断キットによる型別が報告されているのは427人【A型：423人、B型：4人】でした。

保健所管内別報告数（人）

週	46	47	48	49	50	51	52	1
保健所名								
東地方+青森市	8	39	45	47	32	51	46	67
弘前	10	21	35	25	35	30	44	76
三戸地方+八戸市	2	4	4	8	12	12	31	58
五所川原	5	3	4	18	15	14	23	61
上十三	5	10	22	10	17	24	54	121
むつ			1		1	1	22	51
合計	30	77	111	108	112	132	220	434

A型（迅速診断キットによる型別）(人)

週	46	47	48	49	50	51	52	1
保健所名								
東地方+青森市	8	38	45	47	32	51	46	65
弘前	10	21	34	25	35	30	44	76
三戸地方+八戸市	2	4	4	8	12	12	28	58
五所川原	5	3	4	17	15	14	23	61
上十三	5	9	22	10	17	24	54	114
むつ			1		1	1	20	49
合計	30	75	110	107	112	132	215	423

B型（迅速診断キットによる型別）(人)

週	46	47	48	49	50	51	52	1
保健所名								
東地方+青森市								2
弘前			1					
三戸地方+八戸市								
五所川原				1				
上十三								2
むつ								
合計	0	0	1	1	0	0	0	4

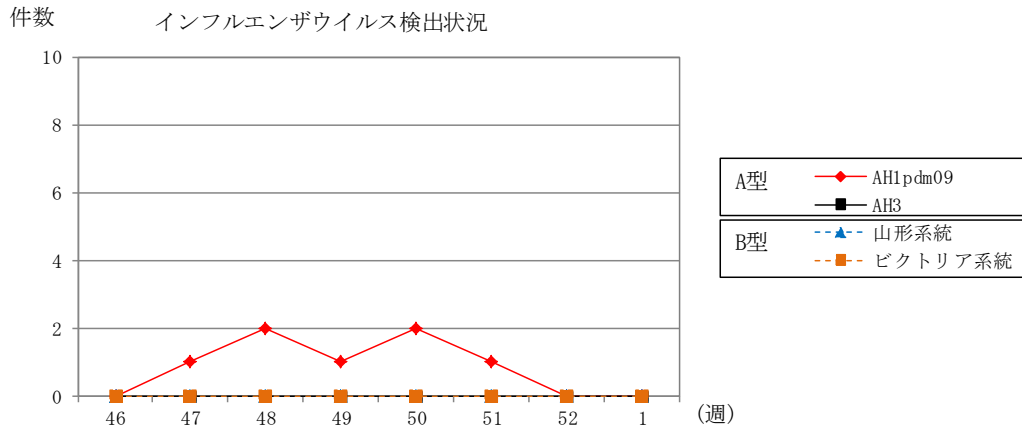
年齢区分別(人)

週	46	47	48	49	50	51	52	1
年齢区分								
～5ヶ月				2		1	1	1
～11ヶ月		2	2	3	3		2	3
1歳		2	5	11	5	5	2	14
2歳		2	4	10	3	8	3	13
3歳		8	10	6	10	5	5	12
4歳	1	7	12	4	13	5	4	7
5歳	1	3	9	4	3	8	9	11
6歳	4	8	9	6	7	9	10	7
7歳	1	6	7	8	9	11	10	9
8歳		7	5	6	5	11	9	3
9歳	1	8	8	4	9	8	10	6
10～14歳	9	18	18	21	17	22	27	28
15～19歳	2	3	3	4	1	3	10	31
20～29歳	2		1	3	5		29	74
30～39歳	1	3	10	7	5	9	26	58
40～49歳	4		2		3	7	23	67
50～59歳	2		2	2	3	10	11	28
60～69歳	1		3	3	7	2	17	31
70～79歳	1		1	3	3	8	7	15
80歳以上				1	1		5	16

Ⅵ 県内インフルエンザウイルス検出状況（県が指定した医療機関（指定提出機関）の提出検体の検出数）

インフルエンザウイルス	2018							2019	直近5週間 合計	2018/2019 シーズン 合計
	46週	47週	48週	49週	50週	51週	52週	1週		
提出検体数	0	1	2	2	2	1	0	0	5	12
A型	AH1pdm09		1	2	1	2	1		4	11
	AH3								0	0
B型	山形系統								0	0
	ビクトリア系統								0	0
合計	0	1	2	1	2	1	0	0	4	11

注) 2018/2019シーズンは2018年第36週（9/3～9/9）～2019年第35週（8/26～9/1）



Ⅶ 保健所管内別全数把握対象疾患発生状況（2018年第50週～2019年第1週）

週	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
50	百日咳1人	腸管出血性大腸菌 感染症1人 急性脳炎1人				百日咳4人
51			レジオネラ症1人 侵襲性肺炎球菌感 染症1人	梅毒2人		百日咳3人
52	梅毒1人		梅毒1人			
1		侵襲性肺炎球菌感 染症1人				

Ⅷ 結核(二類全数把握対象疾患)（2018年第50週～2019年第1週） (人)

週	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
50	5				2	1
51				2	2	
52		3			1	1
1		1				

Ⅷ 全数把握対象疾患発生状況（全国-青森県）（注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています）

全国（2018年第1週～2018年第52週までの累計）

分類	二類	三類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類
疾病名	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノкокス症	オウム病
累積報告数	21850	4	268	3844	35	23	442	925	12	6
分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類
疾病名	回帰熱	Q熱	コクシジオイデス症	重症熱性血小板減少症候群	ダニ媒介脳炎	チクングニア熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	ブルセラ症
累積報告数	6	3	2	77	1	4	455	201	303	3
分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類
疾病名	ボツリヌス症	マラリア	ライム病	類鼻疽	レジオネラ症	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	急性弛緩性麻痺
累積報告数	2	50	13	2	2130	31	838	269	2253	139
分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）
累積報告数	657	25	219	687	1292	68	483	37	3299	461
分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	梅毒	播種性クリプトコックス症	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	百日咳	風しん	麻しん	薬剤耐性アシネトバクター感染症		
累積報告数	6923	178	130	79	11947	2917	282	24		

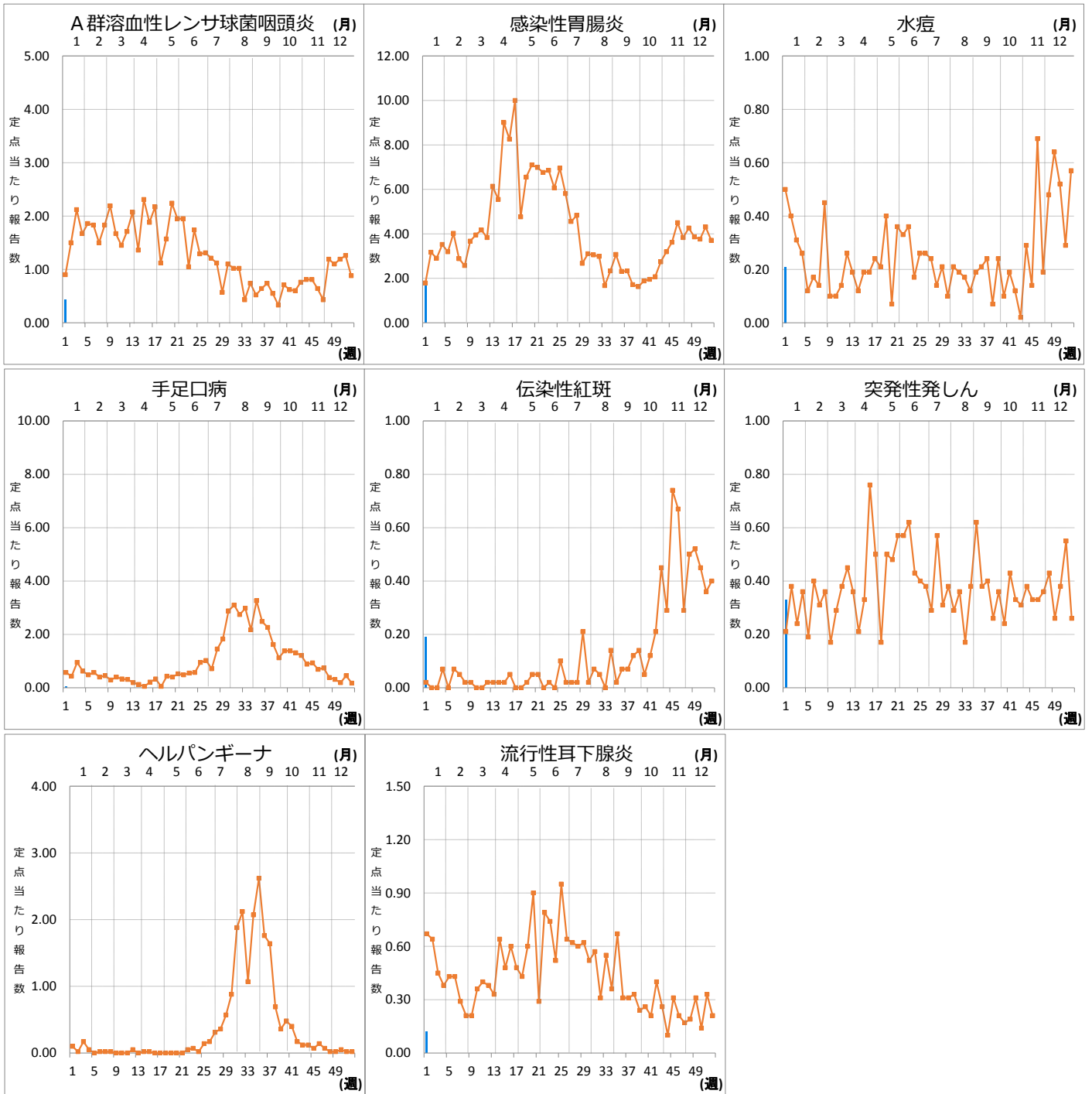
青森県（2019年第1週の累計）

分類	二類	五類
疾病名	結核	侵襲性肺炎球菌感染症
累積報告数	1	1

Ⅸ インフルエンザ・小児科定点把握対象疾患週別推移（2019年第1週）

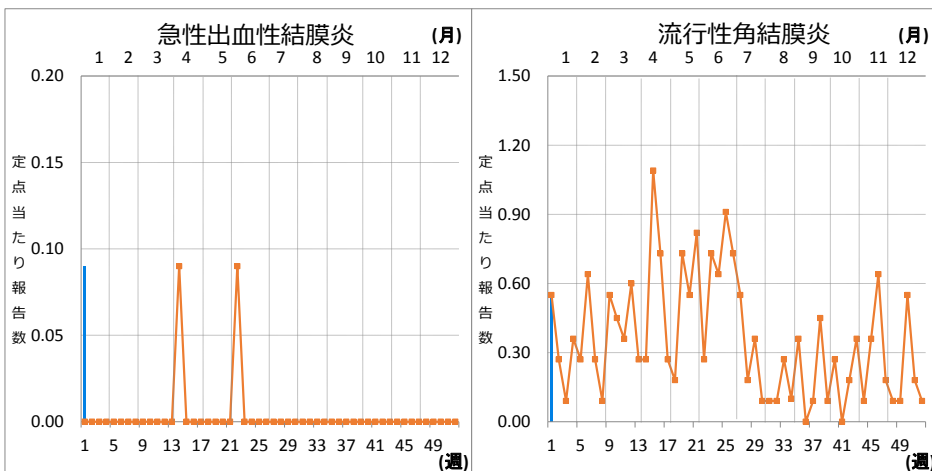
グラフの説明 は2019年青森県、 は2018年青森県





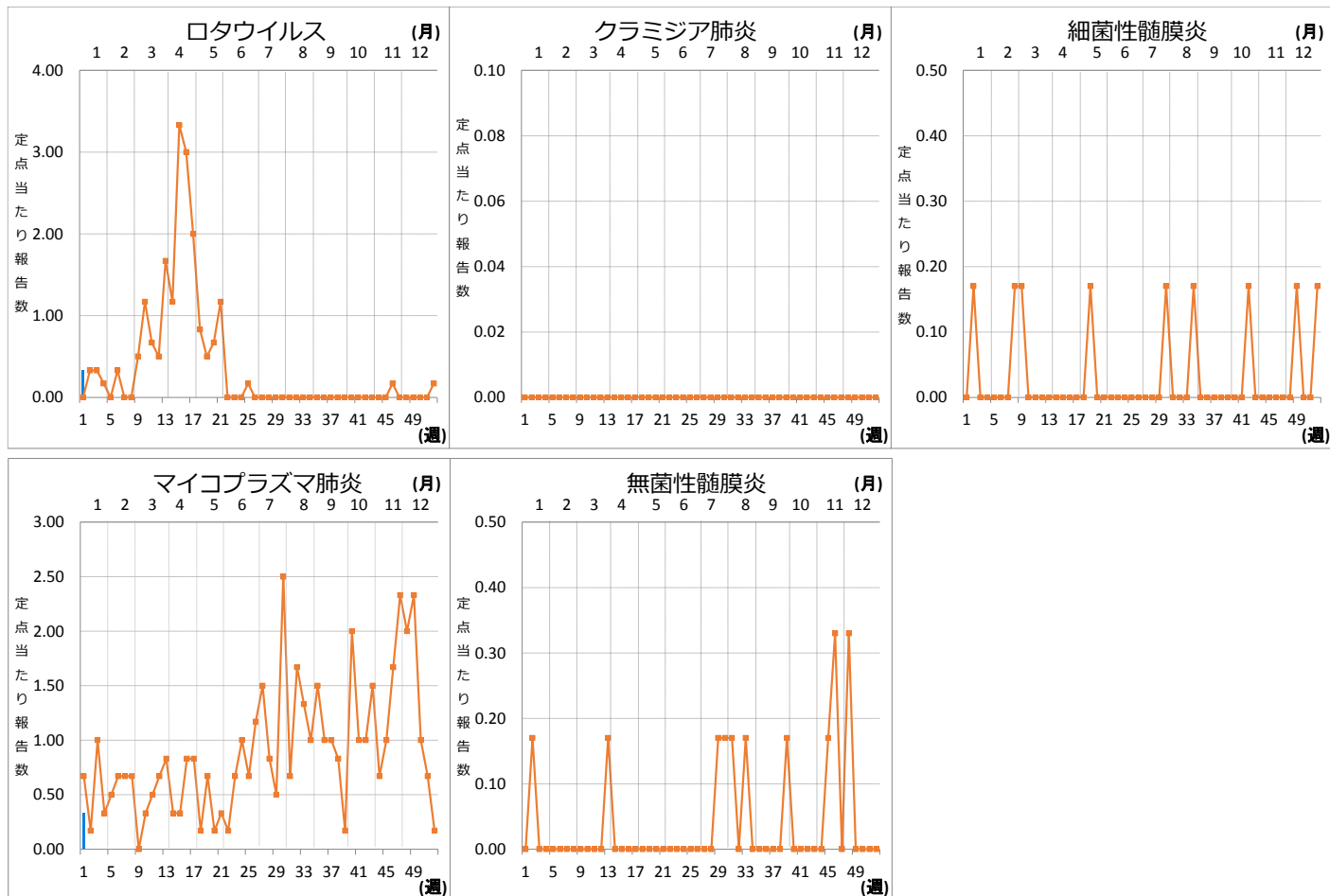
XI 眼科定点把握対象疾患週別推移 (2019年第1週)

グラフの説明 は 2019年青森県、 は 2018年青森県



XII 基幹定点把握対象疾患週別推移（2019年第1週）

グラフの説明 は2019年青森県、 は2018年青森県



XIII 社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑い含む）の発生状況

「社会福祉施設等における感染症等発生時に係る報告について」（平成18年2月22日付け厚生労働省健康局長、医薬食品局長、雇用均等・児童家庭局長、社会・援護局長通知）に基づく、青森県内の社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑いを含む）の報告件数及び発症者数は次のとおりです。

2019年第1週

報告はありませんでした。

2019年報告件数及び発症者数

施設種別	月(週)	1月 1週	計 (施設別)
	介護・老人福祉関係施設	件数	0
	発症者数	0	0
児童・婦人関係施設等	件数	0	0
	発症者数	0	0
障害関係施設	件数	0	0
	発症者数	0	0
その他施設	件数	0	0
	発症者数	0	0
計(月別)	件数	0	0
	発症者数	0	0